

発行: NPO法人ワークセンターいちい どんぐり工房 編集: 佐藤礼佳・石田祐一・種子島彩 令和7年5月
(ホームページ) <http://www.ob2.aitai.ne.jp/~donnguri/> (Eメール) ichii-06@ob3.aitai.ne.jp

- | | | |
|-----------|------------------------------|--|
| ・どんぐり工房 | 瑞浪市陶町水上669番地の1
〒509-6362 | ☎0572-62-1230 Fax0572-62-1231
(Eメール) donnguri@ob2.aitai.ne.jp |
| ・第2どんぐり工房 | 瑞浪市寺河戸町1087番地の1
〒509-6121 | ☎0572-56-1130 Fax0572-56-1131
(Eメール) donnguri@iaa.itkeeper.ne.jp |
| ・わごうホーム | 瑞浪市薬師町2丁目34番地の1
〒509-6135 | ☎・Fax 0572-67-5571
(Eメール) wagou2018@ob.aitai.ne.jp |
| ・学園台ホーム | 瑞浪市学園台2丁目13番地の6
〒509-6106 | ☎・Fax 0572-51-2809 |

どんぐり工房だより 総会号

《共に歩む》

特定非営利活動(NPO)法人ワークセンターいちいが運営しています障害福祉サービス事業所どんぐり工房は、瑞浪市東部に位置する陶町水上に施設移転して今年で15年を迎えます。

平成14年4月、田園地帯でのどかな風景が心を癒してくれる土岐町名滝地区の旧家を借用して開所した小規模作業所どんぐり工房は、市内の特別支援学級を卒業され在宅を余儀なくされている方との1対1の日中活動がその始まりになります。当時、全国でその去就に大きな関心が寄せられていた無認可作業所という脆弱な組織体ではありましたが、徐々にその門を叩いていただく方が増え、平成18年9月、組織の公共性、持続性を目的にNPO法人として登記を致しました。

小規模作業所どんぐり工房としての9年間は、瑞浪市からの委託金や障がいのある子どもを持つ親御さんで結成された保護者会による地域イベントでのバザー収益金また私共の趣旨に賛同していただいた方からの寄付金等が運営資金の全てでした。

施設の法内化いわゆる国の設備及び人員基準をクリアすることが、将来にわたっての財政基盤を確立することになり、かつ福祉サービスを利用されている方にも安心を提供できると考え、「生まれ育ったこの町の中で生きがいを感じる暮らしの場づくり」を合言葉に活動を継続してまいりました。

平成23年4月、私たちの永年の活動が実を結び、施設の法内化を可能にする現在の場所に事業所を構えることができたことは、瑞浪市を始め多くの方々からの変わらぬご支援、ご協力があったからこそと感謝の言葉しかありません。

令和7年度に際して、当法人が提供しています障害福祉サービスを利用されてみえる方は70名を超えており、またその福祉サービス関係スタッフは総勢60名を数えるまでになっています。小規模作業所時代の9年間、法定事業所として県の指定を受け継続したサービス提供につながっている15年間、障害福祉の実情を知れば知るほど地域格差と行政への壁をひしひしと感じながら時の流れは何と早いものかと改めて感じますが、この間、瑞浪市内の障害者入所支援施設は2カ所になり、障害福祉サービス事業者も6カ所に増え、福祉サービス利用時における選択肢は確実に広がっています。

当法人の基本理念に、「利用者とその家族の想いや願いを共有し、安心を提供できる支援に努める」とありますが、障がいのある方との活動の中で、ご家族の不安や心配事が25年近い時を経て少しでも小さくなっていくことを願っています。さらに障がい福祉で最も大事なことは、身近にみえる利用者のために役に立つこと、役に立ちたいという想いを強く持ち続けることであり、そして共に歩んでいきたい。

令和7年5月24日

NPO 法人ワークセンターいちい
事務局長 志水 利保

書き初め



1月7日、新年始めに第2どんぐり工房の利用者さんで書き初めに取り組みました。第2どんぐり工房では、毎日の仕事後にその日の日誌を皆さん書かれているため字を書くのも慣れたものですね。1年の目標は決まりましたか？皆さんにとってよい年になると良いですね！



陶どんぐり お花見



4/14

ドライブと
満開の桜の花を
たのしみました♪
綺麗な景色で
気分もうららか



🌸 花よりだんご派?! 🌸🍡 いいえ! たこやき派です 🍡



たこ焼きを焼くよ!
みんなお外に集合~



どんぐりの敷地内にて
綺麗なお花を眺めながら
たこ焼きづくり!
チャレンジ!



ダムにならないように
丁寧に生地を
まぜまぜ



生地をタコ焼き機に
流し込んだら、具材をいれていくよ

手袋をつけたら
タコ焼き機の穴の中に
具材をいれていくよ
ウィンナーやチーズ、
もちろんタコもね☆
いれ忘れないようにね



生地が少し固まってきたら
くるくるタイムに突入だ!



それ!
クルクル~
よし!
いい焼き加減

おいしいたこ焼き
をつくるため
勇気をだして
クルクルころがして!



もぐもぐ
タイム
スタート



火傷に注意しながら
できたて手作りのおいしさを
あじわいました♪

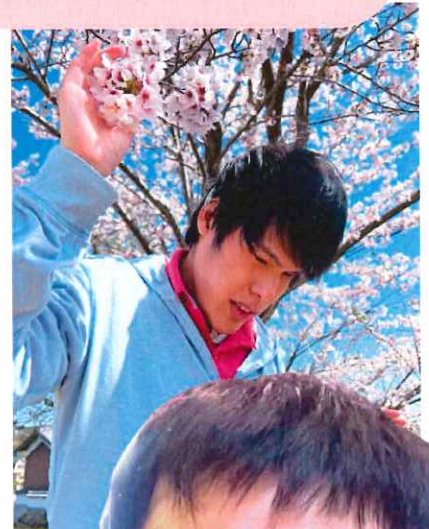
日常の活動紹介（公園清掃・ドライブ編）



公園清掃を頑張ったあとは
ひとやすみ・・・
季節を感じる美しい景色ととパシャリ



わ！とてもかわいい
おもわずタッチ



きれいなお花を手に取って
香りをクンクン♪
お花のいいに～お～い～



春のおでかけは
さくらが
綺麗だった！



パン・クッキー工場の
仕事の様子



利用者さんと一緒に働いている
新しい職員さんの紹介です



工房 間世田 真知子

パンが大好きで、自分でも作れるようになりたいという想いで入職しました。今は焼き上がったパンを袋詰めして“きなあつ”への配達をさせて頂いております。いずれはパン職人さんを見習い、そして自分でも焼けるようになりたいと、ちょっと生意気なことも考えております。不器用な私ですが、一生懸命頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。



工房 成瀬 幸男

令和6年11月に入職しました成瀬幸男(なるせさちお)と申します。

38年間100分の1ミリとか100分の1グラムで管理する車関連の製造業に勤めていました。こちらでお世話になることになりました。現在は“きなあつ”へパンを配達して陳列したり、恵那市役所では100個近くのパンを販売しています。

どちらも初めての経験です。先輩方のご指導よろしくお願いします。